

令和元年度 第1回石垣市総合教育会議
— 議事録 —

1. 開催日時

令和2年2月3日（月）午後3時～午後4時10分

2. 開催場所

石垣市役所第1・2会議室

3. 出席者

(1) 構成員

石垣市長 中山 義隆
教育委員会 教育長 石垣 安志
教育委員会 教育長職務代理者 金城 綾子
教育委員会 委員 浦内 克雄
教育委員会 委員 大道 夏代
教育委員会 委員 南 和秀

(2) 構成員以外

【説明員】

総務部長 知念 永一郎 教育部長 天久 朝市 企画政策課長 棚原 長武
こども未来局子育て支援課長 伊盛 加寿美 教育委員会総務課長 仲間 千加
史 教育委員会学務課長 入嵩西 覚 教育委員会学校教育課長 與世山 淳
教育委員会いきいき学び課長 砂川 栄秀 教育委員会市史編集課長 大濱 憲
二 教育委員会博物館長 浅田 浩 教育委員会図書館長 桃原 直 スポーツ
交流課長補佐兼スポーツ推進係長 大浜 敦史 教育委員会文化財課文化財係長
下野 栄高

【司会】

総務課長 翁長 致純

【事務局】

総務課法制係長 宮良 優児 総務課法制係 崎山 英哉 総務課法制係 島袋
晃一

【その他職員】

企画政策課長補佐兼企画係長 田盛 誠治 教育委員会総務課企画調整係長 内
原 正勝 教育委員会総務課企画調整係 平得 航二郎

4. 傍聴人

0名（報道関係者4名）

5. 議題

- (1) 石垣市教育大綱の改正について
- (2) その他

【司 会】

本日は、お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

石垣市総合教育会議設置要綱第6条の規定により、本会議は、原則公開となっておりますので、マスコミ及び傍聴希望者について、入室を許可してよろしいでしょうか。

【委員全員】

はい。

【司 会】

それでは、マスコミ及び傍聴希望者の入室を許可いたします。

－ 入室 －

【司 会】

改めまして、第1回石垣市総合教育会議を開催いたします。

まず、はじめに、石垣市総合教育会議の概要について、総務部長よりご説明いたします。

【総務部長】

総合教育会議は、平成26年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、「首長と教育委員会が、相互の連携を図りつつ、より一層の民意を反映した教育行政を推進すること」を目的として設置されるものです。

総合教育会議の進め方として次の2つがあります。1つは、教育行政に関する施策を市長と教育委員会が協議・調整する場、もう1つは、児童生徒等の生命又は身体に、現に被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に協議、調整する場としています。なお、会議は原則公開としますが、個人の秘密を保つ必要がある場合は非公開とする場合もあります。

総合教育会議は、市長と教育委員会という執行機関同士の協議及び調整の場で、文部科学省からの通知によると、「調整」とは教育委員会の権限に属する事務について、予算の編成、執行や条例提案などの市長の権限と調和を図ること。「協議」とは、調整を要しない場合も含め、自由な意見交換として幅広く行われるとの見解が示されていますので、会議において調整がついた事項はそれぞれ尊重義務を負いますが、市長と教育委員会がそれぞれ執行権限の一部を会議に移して、会議の場で決定を行うものではないため、決定機関ではなく、また、市長の附属機関ではない旨、申し添えます。

本日は、本市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱改正について、協議調整をお願いします。

【司 会】

それでは、石垣市総合教育会議事務要領第3条第1項の規定により、「会議の開会及び閉会並びに進行は、市長が行う。」となっておりますので、市長に進行をお願いします。

【中山市長】

本日は、お忙しい中、令和元年度第1回石垣市総合教育会議に、ご出席いただきまし

てありがとうございます。

皆様におかれましては、日頃から本市の子どもたちの教育の充実及び発展のためにご尽力いただきまして誠にありがとうございます。

総合教育会議においては、市長と教育委員会が、教育行政の大綱や重点的に講ずべき施策等について、協議調整を行うことにより、本市の教育施策の方向性を共有し、一致して執行に当たることが期待されています。本日は、石垣市の未来を担う子どもたちのため、より良い教育の実現に向けて意見を交わせる場にしていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

それでは、各委員より一言ずつご挨拶をいただきますようお願いいたします。

【金城委員】

小学校の学習指導要領も全面実施となり、中学校においては移行期間となっておりますので、今回教育大綱を改正することは意義深いことだと思います。

【浦内委員】

市民の目線から教育委員会では意見をしているところですが、本日は、市長も交えて協議できますこと、嬉しく思います。

【南委員】

昨年の4月に教育委員に就任しました。教職34年の経験を活かして学力向上の推進と生徒指導や不登校などの問題に尽力していきたいと思います。

【大道委員】

普段は、保護者の立場から教育委員会において、教育行政について意見をさせていただいており、本日は、市長を交えて意見交換ができることを楽しみにしています。

【教育長】

私は、教育長として2期目に入りました。総合教育会議の中において、学校の修繕、学校図書館の充実、派遣費補助等の予算確保をいただきましたので、教育行政の充実に取り組ませていただいております。

【中山市長】

それでは、まず1点目の「石垣市教育大綱の改正について」企画政策課より説明をお願いします。

～石垣市教育大綱（令和元年度～令和3年度）・石垣市教育大綱体系図（改正案）の説明～

【中山市長】

先ほど説明のありましたことについて、何かご質問はありますか。

【南委員】

石垣市教育大綱の基本方針の「3. 地域・家庭の連携を図り、青少年の健全育成を推進」について、「3. 地域・学校・家庭の連携を図り、青少年の健全育成の推進」に改めてはどうでしょうか。

【中山市長】

前後の項目、内容との整合性を図るため、委員ご指摘のとおり修正をお願いします。

【浦内委員】

石垣市教育大綱図（改正案）の施策の方向の項目に「スマムニの継承」を加えてはどうでしょうか。ユネスコが平成21年に発表した日本の言語・方言の消滅危機の中に八重山方言が重大な危機にあると指定されています。また、平成25年には、沖縄県が行った「しまくとぅば県民意識調査」によれば、県民の約8割がしまくとぅばに親しみをもっているとの結果。日常会話で使われているのが全体の3割程度とされるが、10代から40代においては5%にも達していないとの結果がでています。先人から受け継いだ伝統文化を次世代につなげるため、また、アイデンティティにも関わる方言を残すため、学校教育・社会教育を通して、しまくとぅばに親しむ必要があると考えます。今年度の教育委員会の教育主要施策のひとつにスマムニに関する施策が掲げられており、市民憲章においても「詩の国、うたの国、郷土石垣市に誇りを持ち」と謳われており、その精神からも教育のまちづくりに励むとしています。それらと整合性を図る観点からもスマムニの継承について石垣市教育大綱に加えていただきますようご検討願います。

【中山市長】

提案の件についてご意見はありますか。

【教育長】

平成31年石垣市教育委員会教育主要施策体系の中で「豊かな感性を育む文化の継承と発展」において、スマムニに関する関係機関との連携を掲げていますので、石垣市教育大綱体系図においても加えていただければと思います。

【中山市長】

ご意見を踏まえまして、石垣市教育大綱体系図の郷土自然の箇所に、スマムニの普及・継承について加えさせていただきたいと思います。

【金城委員】

石垣市教育大綱の基本方針の1と2について、「子どもたちの幼児期からの豊かな心の育成と学力の向上_____を図り」の点ですが、石垣市教育大綱体系図中「(2) 確かな学力の向上」とありますが、「(2) 確かな学力の向上の推進」としてはいかがでしょうか。また、基本方針も合わせて「学力の向上の推進」としていただければと思います。

【中山市長】

ご意見のとおり、修正させていただきます。

【大道委員】

石垣市教育大綱の1. 自ら学ぶの項目に「キャリア教育の推進」を加えていただきたいと思います。沖縄県では、キャリア教育を推進しており、自分で考え計画し、行動に移すことができる児童・生徒、また、目的意識を持って、様々な人と協働し、社会を支える自立した人材の育成としてキャリア教育を推進していますので、本市においても取り組む必要があります。

また、基本方針の3項目目に、「安心・安全な学校、地域づくりの推進」を加えてい

ただきたいと思います。学校と地域、保護者は連携して、登下校の見守りや交通指導、見回り等を実施しています。そうした点から「安心・安全な学校、地域づくりの推進」も必要ではないでしょうか。

そして、5項目目に「学校教育施設の整備と充実」を加えていただきたいです。学校施設の老朽化や設備の劣化が目立ちますので、教育環境を整えることも必要ではないでしょうか。さらに、同項目に、「教職員の資質・指導力の向上」を加えてはどうでしょうか。教員のオーバーワークが問題となっており、働き方改革で、教職員の業務の軽減を図っていますが、まだ十分ではないと感じています。教職員が余裕をもって働く環境を整えることが、教職員の資質の向上、指導力の向上につながると思います。

基本方針の自ら学ぶの項目に「(6) 幼児教育の充実」とあり、「質の高い学校教育」の項目で認定こども園について掲げています。幼児教育の無償化や保育の量的拡大を進めていますが、幼児教育の質の向上も併せて必要です。そのため、「質の高い学校教育」の施策の方向の文言を「幼保小連携による幼児教育の充実」又は「就学前教育の充実」といった文言に変えてはどうでしょうか。

基本方針の自ら学ぶの項目「(7) 個性を大切にせる教育の推進」に関して「人権教育の推進」も加えてはどうでしょうか。障害をもった方や LGBT 等、多様な人がいますので、自らを大切にし、他人を認める人権教育が必要だと思います。

【中山市長】

この点に関し、何かご意見はありますか。

【浦内委員】

大道委員からの「(7) 個性を大切にせる教育の推進」について人権を加えるという点ですが、どちらも大切なことですので、「個性・人権を大切にせる」としてはどうでしょうか。

【中山市長】

では、そのように修正させていただきたいと思います。

【金城委員】

体系図の3項目目の(12)に「家読」とありますが、沖縄県の市町村教育委員会の会合で今年の重点的な取り組みの中で、ファミリー読書の推進とありました。本市においては「家庭読書の推進」とした方がいいと思います。

【中山市長】

「家読」とあるのを「家庭読書」と修正させていただきたいと思います。

【大道委員】

郷土の自然の項目の施策の方向についての文言について、教育委員会の教育主要施策体系と統一した方がいいと思います。「(4) 文化財の保護と活用」は、教育委員会では、「文化財の保存整備と活用」となっています。

【中山市長】

文言の統一は必要だと思います。

【文化財課係長】

教育主要施策体系は毎年度3月に改正しております。課内においては、教育大綱は3年で改正、教育主要施策体系は毎年度現状に併せて改正していくということになっていきますので、ズレが生じています。

【教育長】

文言はどちらかに統一ということではないかと思えます。

【大道委員】

教育委員会の教育主要施策体系では、「文化財の保存整備と活用」、「埋蔵文化財の保護」、「指定文化財の保護と維持管理の充実」となっています。

【教育委員会総務課長】

今回改正される石垣市教育大綱に合わせて、教育委員会の教育主要施策体系の方も修正させていただきたいと思えます。

【中山市長】

では、石垣市教育大綱に合わせて修正をお願いしたいと思えます。

私からも修正をお願いしたい点があります。大綱の1項目目「行政、学校、家庭、地域」とありますが、3項目目では「地域・学校・家庭」という順番になっています。その中の文言では、「家庭・学校・地域」となっていて、次のページでは「地域・家庭の連携を図り」となっていますので、順番を統一した方がいいと思えますがどうでしょうか。

【委員全員】

統一した方がいいと思えます。

【いきいき学び課長】

国の方では、学校・家庭・地域という並びとなっています。

【中山市長】

では、その並びで統一していただきたいと思えます。

【金城委員】

大綱の3項目目の説明の部分が不足しているように感じられますので、後段に「社会奉仕体験や自然体験活動を通して未来の担い手（又は創り手）となるための資質や能力の育成に努め、地域の教育力の活性化を図ります。」と加えてはどうでしょうか。

【中山市長】

ご提案の文言については、加えたいと思えます。

【金城委員】

基本方針の2項目目では「石垣市」となっており、4項目目では「本市」となっています。統一をした方がいいのではないのでしょうか。

【中山市長】

4項目目の最初の「石垣市の」を削除せず、その後の「本市」を削除したいと思います。

【企画政策課長】

4項目目に浦内委員からご提案のあったスマムニの普及・継承も加えさせていただいてよろしいですか。

【浦内委員】

お願いします。

【大道委員】

石垣市教育大綱について3年で改正とする根拠が、法律等には明記されていないようですが、3年ごとに改正する旨、規定しておかなくても大丈夫でしょうか。

【中山市長】

事務局はどう考えますか。

【事務局】

改正の根拠については、法令等に定めはありませんが、市長の任期が4年であること及び国の計画が5年であることから、おおよそ4年から5年程度が想定されているところです。本市においては、初回の大綱の年限が3年計画でしたので、今回の改正においても3年としました。

【中山市長】

これについては、事務局で何年計画とするのか再検討をしてください。年数を決めて明記をし、市長が提案する場合はこの限りでないなどの規定を設けてください。

石垣市教育大綱の改正について、ご提案のあった点、修正のあった点については、修正を加えるということでご承認をいただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

【委員全員】

はい。

【中山市長】

では、ご承認いただきました、石垣市教育大綱をもとに、各種施策を進めてまいりたいと思います。

次に、その他、協議したい事項についてですが、私の方から1点ございます。先日、学校の授業参観に行ってきました。その際、沖縄県が発行しているしまくとうばの本が目に入って、閲覧させていただきましたが、その内容がほぼ、沖縄本島のしまくとうばの内容となっており、北部地域や八重山を含めた離島は1ページから2ページずつしか記載がありませんでした。この内容では、授業に十分活用できないのではないかと思います。スマムニを普及・継承していくには、八重山地域向けの本の作成が必要だと感じました。

【浦内委員】

与那国町に視察に行った際に、町では、かるたや副読本を活用して、積極的に行政や教育委員会が関わって、しまくとうばの普及に努めているという印象を受けました。本市においても実態を把握しながら策を講じる必要があると思います。子どもたちへの教育ももちろんですが、親世代がしまくとうばを使うことが普及させる上で必要なことだと感じています。

【教育長】

先ほど市長からもありましたように、沖縄県が発行している小中学生向けの副読本は、各学校に教材として配布されていますが、十分に活用できていない点はあるかと思えます。市の文化協会や婦人会でスマムニについての本が発行されています。また、かるたの購入について担当課から説明いたします。

【教育委員会総務課長】

今回、3月定例議会で予算要求をするところですが、昨年、寄附金をいただいた中から文化協会が発行している、かるたを購入し、全学校に配布したいと考えております。

【中山市長】

数量はどの程度を予定していますか。

【教育委員会総務課長】

45セットを購入し、全校へ配布予定です。

【中山市長】

もう少し用意してもいいのではないかと思います。

【教育委員会総務課長】

各学校のニーズ等を把握しながら、今後、検討していきたいと思えます。

【教育長】

いきいき学び課の方では生涯学習フェスティバルでスマムニかるたの大型版を作成し、かるたとりを行うことを計画しています。

【いきいき学び課長】

生涯学習フェスティバルを通して、普及に努めていきたいと考えています。

【中山市長】

スマムニ検定ということも面白い試みかもしれませんので、文化協会と相談していきたい。

【金城委員】

島の方言にもいろいろあって、四か字の方言を中心に教えていくことになると思うが、地域によっても方言は違うと思えますので、そういった点も考慮していかないといけないと思えます。

【教育長】

地域のスマムニの方言も大切にしながら、やっていくことも必要だと思えます。

【中山市長】

子どもたちにパソコンを1台という方針を国が補助金を10分の10つけるとしているが、本市だけでも3,600台程度必要となるが、買い替えの際に、補助はでないので、沖縄県の振興会議で提案したのが、全県で一括購入し、購入費用を抑えていけたらと思っています。学力向上に欠かせない道具ですので、早めに導入していけるよう教育委員会の皆様にはお願いしたいと思えます。

【教育長】

情報教育の充実、学力向上を図るため、子どもたちに一人1台のパソコンないしタブレットを導入することは大切なことだと思います。ネット環境の整備等も含め、いち早く導入ができるよう進めているところです。

話は変わりますが、学校現場では、不登校が課題となっています。今年度は、教育委員会では、不登校を減らすための取り組みを進めているところですが、小学校において特に不登校児が増えている現状があります。特に30日未満の不登校者数が非常に多くなっています。不登校対策で青少年センターやあやばに学級に支援員を設置し、登校支援を行っていますが、学習支援員や特別教育支援員を学校現場に入れて児童生徒に対応していけば、もっと不登校を減らせるのではないかと考えます。

【中山市長】

不登校になる子たちの原因の分析はできていますか。

【いきいき学び課長】

様々な要因があり、本人だけでなく家庭へのアプローチも必要だと考えます。一度、不登校になると復帰するのが難しくなるので、早めの対応が必要となります。不登校予備軍を不登校化させないため、実証モデル校として石垣中学校と真喜良小学校にスクールライフサポーターを配置して、現在、効果を検証しているところです。しかし、スクールライフサポーターだけでは、支援が不十分なところもあるため、さらに支援員を増やして対応にあたることを検討しています。

【南委員】

あやばに学級が登野城公民館に設置されているが、来年度取り壊しと聞いています。次年度以降はどこに設置されますか。

【いきいき学び課長】

その点に関しては現在、議論、検討を進めているところです。

【中山市長】

それでは、これをもちまして、令和元年度第1回石垣市総合教育会議を閉会といたします。